



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社SRAホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3817 URL <https://www.sra-hd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大熊 克美
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部財務・経理部長 (氏名) 小林 俊昭 TEL 03-5979-2666
定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月11日
有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）※オンライン開催<Zoom使用>

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	47,125	9.9	6,907	15.0	8,575	19.1	4,584	421.4
2023年3月期	42,864	6.6	6,004	10.4	7,201	11.4	879	△75.4

(注) 包括利益 2024年3月期 4,477百万円 (122.1%) 2023年3月期 2,016百万円 (△53.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	367.82	366.34	16.6	19.1	14.7
2023年3月期	71.13	70.95	3.4	17.4	14.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △16百万円 2023年3月期 △121百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	47,329	29,227	61.6	2,318.33
2023年3月期	42,387	26,016	61.2	2,087.73

(参考) 自己資本 2024年3月期 29,177百万円 2023年3月期 25,922百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	4,103	△165	△1,575	16,047
2023年3月期	5,141	△315	△1,313	13,586

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	40.00	—	100.00	140.00	1,735	196.8	6.8
2024年3月期	—	40.00	—	120.00	160.00	2,008	43.5	7.3
2025年3月期(予想)	—	80.00	—	90.00	170.00		46.5	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,500	5.0	7,300	5.7	7,350	△14.3	4,600	0.3	365.49

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	15,240,000株	2023年3月期	15,240,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	2,654,235株	2023年3月期	2,823,231株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	12,465,119株	2023年3月期	12,361,504株

(参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,018	29.7	2,671	36.0	2,614	36.7	2,572	38.1
2023年3月期	2,326	△7.6	1,964	△9.3	1,912	△10.1	1,863	△9.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	188.37	187.68
2023年3月期	137.47	137.15

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2024年3月期	9,378	9,291	9,291	9,152	98.5	670.90	670.90	
2023年3月期	8,952	8,152	8,152	8,152	90.0	592.27	592.27	

(参考) 自己資本 2024年3月期 9,242百万円 2023年3月期 8,058百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。

・決算補足説明資料は、当社ホームページに速やかに掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
生産、仕入、受注及び販売の状況	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度につきましては、米中摩擦の継続、ウクライナ問題の長期化、中東情勢の緊迫化など地政学リスクが高まるなか、国内景気は緩やかながらも回復基調にあり、情報サービス産業においては、業務効率化やビジネスの改革等の投資を中心に需要は堅調に推移しております。

一方で、今後、中国経済の悪化をはじめとした海外景気の鈍化や、世界的な金融引き締め動き、為替及び株式相場の更なる不安定、物価高騰の拡大等が国内景気や企業の投資意欲に与える影響も懸念されます。一部のお客様においては、中国リスク等による投資抑制の動きも見られることから、今後の下振れリスクに備え、これまで以上に内外の環境変化やお客様の投資動向を注視する必要があるものと認識しております。

そのような中、当連結会計年度の連結業績につきましては、お客様からの需要が高く、収益性の高いクラウドビジネスなどの事業を進展させるとともに、既存事業の更なる生産性向上や単価改善等に努めた結果、次のとおりとなりました。

売上高につきましては、「開発事業」、「運用・構築事業」、「販売事業」のすべてのセグメントで増加し、特に「販売事業」が好調だった結果、47,125百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

損益面におきましては、高収益ビジネスの拡大と既存ビジネスの収益性向上施策により、売上総利益は11,951百万円（同11.1%増）、営業利益は6,907百万円（同15.0%増）となりました。経常利益は、営業利益の増加に加え、為替差益の増加等により、8,575百万円（同19.1%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記経常利益の増加に加え、投資有価証券評価損や貸倒引当金繰入額の減少等により、4,584百万円（同421.4%増）となりました。

通期の業績予想（売上高45,500百万円、営業利益6,500百万円、経常利益7,300百万円、当期純利益4,000百万円）に対しましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益のすべてにおいて予想を上回る結果となりました。

なお、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高額を更新しております。

当期の配当につきましては、前述の収益実績を踏まえ、配当性向50%を目途に、「安定的な高配当」を目指す、との方針のもと、期末配当金を20円増配の1株当たり120円とし、年間配当金を160円といたします。

◎連結業績の推移

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
					直近業績公表値 2024年 2月8日公表	実績
売上高	43,642	39,386	40,203	42,864	45,500	47,125
営業利益	4,948	5,026	5,440	6,004	6,500	6,907
経常利益	4,951	5,268	6,463	7,201	7,300	8,575
親会社株主に 帰属する当期 純利益又は親会社 株主に帰属する当 期純損失(△)	△612	3,073	3,577	879	4,000	4,584

当連結会計年度のセグメント別の売上高の状況は以下のとおりです。

●開発事業

開発事業は、製造業向け及び金融業向けが増加した結果、当事業の売上高は24,711百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

●運用・構築事業

運用・構築事業は、製造業及び大学向けが増加した結果、当事業の売上高は6,043百万円（同4.1%増）となりました。

●販売事業

販売事業は、株式会社A I Tで金融業向け、研究機関向けが大幅に増加した結果、当事業の売上高は16,370百万円（同22.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は47,329百万円（前連結会計年度末比11.7%増）、負債合計は18,101百万円（同10.6%増）、純資産合計は29,227百万円（同12.3%増）となりました。

前連結会計年度末と比較した増減の主な内容は次のとおりです。

(資産)

現金及び預金が16,250百万円と2,563百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産が9,434百万円と1,711百万円増加、長期貸付金が4,801百万円と1,604百万円増加した一方で、短期貸付金が2,863百万円と1,068百万円減少しました。

(負債)

未払法人税等が2,235百万円と843百万円増加、買掛金が5,364百万円と804百万円増加、未払費用が1,208百万円と401百万円増加した一方で、短期借入金が90百万円と296百万円減少しました。

(純資産)

利益剰余金が21,998百万円と2,844百万円増加、投資有価証券の時価変動等によりその他有価証券評価差額金が4,104百万円と484百万円増加、資本剰余金が5,186百万円と335百万円増加した一方で、為替換算調整勘定が△986百万円と719百万円減少しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,461百万円増加し、16,047百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、4,103百万円（前連結会計年度は5,141百万円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益が7,647百万円であり、法人税等の支払2,172百万円、売上債権の増減△1,675百万円、為替差損益△1,397百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、165百万円（同315百万円の使用）となりました。これは、主に貸付金の回収による収入267百万円、投資有価証券の売却による収入254百万円、無形固定資産の取得による支出333百万円、投資有価証券の取得による支出248百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,575百万円（同1,313百万円の使用）となりました。

これは、主にストックオプションの行使による収入が474百万円あった一方で、株主還元として総額1,740百万円の配当金の支払及び短期借入金の返済280百万円によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率（%）	62.9	61.2	61.6
時価ベースの自己資本比率（%）	85.3	85.5	106.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.1	0.1	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	375.7	4,258.2	2,723.6

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

2025年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、売上高49,500百万円、営業利益7,300百万円、経常利益7,350百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,600百万円を予想しております。売上高、営業利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては増収増益を見込んでおりますが、為替変動の影響を勘案し、営業外収益の減少により経常利益は減益予想としております。

次期の配当につきましては、1株当たり配当金を当期より10円増額の170円（中間配当80円、期末配当90円）とする計画であり、この配当を実施した場合の配当性向は46.5%の見込みです。

これからも株主還元の更なる充実を図るという方針のもとに、従来通り配当性向50%を目途に、「安定的な高配当」を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、将来における国際会計基準の適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,686	16,250
受取手形、売掛金及び契約資産	7,723	9,434
有価証券	34	36
商品及び製品	1,454	1,784
仕掛品	516	556
短期貸付金	3,931	2,863
未収入金	2,891	2,724
その他	612	674
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	30,845	34,317
固定資産		
有形固定資産		
建物		
建物	386	372
減価償却累計額	△295	△282
建物(純額)	90	89
機械装置及び運搬具		
機械装置及び運搬具	542	579
減価償却累計額	△503	△529
機械装置及び運搬具(純額)	38	50
その他		
その他	159	165
減価償却累計額	△117	△119
その他(純額)	42	45
有形固定資産合計	171	185
無形固定資産		
その他	440	636
無形固定資産合計	440	636
投資その他の資産		
投資有価証券	8,504	9,165
長期貸付金	3,197	4,801
繰延税金資産	475	537
差入保証金	379	382
退職給付に係る資産	47	45
その他	736	698
貸倒引当金	△2,390	△3,418
投資損失引当金	△20	△22
投資その他の資産合計	10,929	12,190
固定資産合計	11,541	13,011
資産合計	42,387	47,329

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,559	5,364
短期借入金	386	90
未払費用	806	1,208
未払法人税等	1,391	2,235
未払消費税等	836	799
前受金	3,578	3,660
賞与引当金	575	598
役員賞与引当金	133	149
資産除去債務	—	9
その他	493	380
流動負債合計	12,761	14,497
固定負債		
繰延税金負債	267	526
退職給付に係る負債	3,039	2,749
役員退職慰労引当金	289	318
その他	13	10
固定負債合計	3,609	3,604
負債合計	16,370	18,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	4,850	5,186
利益剰余金	19,153	21,998
自己株式	△2,316	△2,134
株主資本合計	22,687	26,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,619	4,104
為替換算調整勘定	△266	△986
退職給付に係る調整累計額	△117	10
その他の包括利益累計額合計	3,235	3,128
新株予約権	93	49
純資産合計	26,016	29,227
負債純資産合計	42,387	47,329

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	42,864	47,125
売上原価	32,109	35,174
売上総利益	10,755	11,951
販売費及び一般管理費	4,751	5,043
営業利益	6,004	6,907
営業外収益		
受取利息	231	172
受取配当金	89	159
為替差益	1,226	1,397
その他	37	47
営業外収益合計	1,584	1,776
営業外費用		
支払利息	3	3
証券代行事務手数料	47	55
持分法による投資損失	121	16
投資事業組合運用損	143	—
支払手数料	26	27
その他	44	5
営業外費用合計	387	108
経常利益	7,201	8,575
特別利益		
投資有価証券売却益	17	26
その他	1	0
特別利益合計	19	27
特別損失		
投資有価証券評価損	1,517	206
投資有価証券売却損	435	5
貸倒引当金繰入額	2,300	719
その他	1	22
特別損失合計	4,255	954
税金等調整前当期純利益	2,965	7,647
法人税、住民税及び事業税	2,187	3,137
法人税等調整額	△101	△74
法人税等合計	2,086	3,062
当期純利益	879	4,584
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	879	4,584

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	879	4,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,257	484
為替換算調整勘定	△116	△719
退職給付に係る調整額	△3	127
その他の包括利益合計	1,137	△107
包括利益	2,016	4,477
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,016	4,477
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	4,702	19,878	△2,403	23,178
当期変動額					
剰余金の配当			△1,604		△1,604
親会社株主に帰属する 当期純利益			879		879
自己株式の処分		147		86	233
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	147	△725	86	△491
当期末残高	1,000	4,850	19,153	△2,316	22,687

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	2,361	△149	△113	2,098	85	25,362
当期変動額						
剰余金の配当				—		△1,604
親会社株主に帰属する 当期純利益				—		879
自己株式の処分				—		233
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,257	△116	△3	1,137	8	1,145
当期変動額合計	1,257	△116	△3	1,137	8	654
当期末残高	3,619	△266	△117	3,235	93	26,016

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000	4,850	19,153	△2,316	22,687
当期変動額					
剰余金の配当			△1,740		△1,740
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,584		4,584
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		335		181	517
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	335	2,844	181	3,362
当期末残高	1,000	5,186	21,998	△2,134	26,049

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	3,619	△266	△117	3,235	93	26,016
当期変動額						
剰余金の配当				—		△1,740
親会社株主に帰属する 当期純利益				—		4,584
自己株式の取得				—		△0
自己株式の処分				—		517
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	484	△719	127	△107	△44	△151
当期変動額合計	484	△719	127	△107	△44	3,210
当期末残高	4,104	△986	10	3,128	49	29,227

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,965	7,647
減価償却費	158	177
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	44	△290
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	28	29
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34	23
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	40	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,299	1,029
投資損失引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△1	—
受取利息及び受取配当金	△321	△331
支払利息	3	3
支払手数料	13	27
為替差損益(△は益)	△1,226	△1,397
持分法による投資損益(△は益)	121	16
投資有価証券評価損益(△は益)	1,517	206
投資有価証券売却損益(△は益)	417	△20
固定資産除却損	1	7
売上債権の増減額(△は増加)	△22	△1,675
棚卸資産の増減額(△は増加)	△320	△395
仕入債務の増減額(△は減少)	547	772
その他の流動資産の増減額(△は増加)	299	△11
その他の負債の増減額(△は減少)	△102	391
未払消費税等の増減額(△は減少)	165	△36
その他	27	△268
小計	6,622	5,922
利息及び配当金の受取額	152	355
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△1,631	△2,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,141	4,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△36	△55
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△165	△333
無形固定資産の売却による収入	1	—
投資有価証券の取得による支出	△205	△248
投資有価証券の売却による収入	79	254
関係会社株式の取得による支出	△236	—
貸付けによる支出	△37	△46
貸付金の回収による収入	451	267
定期預金の預入による支出	△190	△99
定期預金の払戻による収入	32	99
差入保証金の差入による支出	△8	△7
差入保証金の回収による収入	0	5
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△315	△165

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	93	△280
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△1,604	△1,740
ストックオプションの行使による収入	211	474
支払手数料の支払額	△13	△27
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,313	△1,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	170	97
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,683	2,461
現金及び現金同等物の期首残高	9,902	13,586
現金及び現金同等物の期末残高	13,586	16,047

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「開発事業」、「運用・構築事業」及び「販売事業」の3事業を含む事業会社である子会社を統括管理しております。したがって、当社グループは、「開発事業」、「運用・構築事業」及び「販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの内容は、次のとおりであります。

- | | |
|---------|---|
| 開発事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○メインフレーム系大規模システムでの要求定義から開発・保守にいたる一貫したシステム開発 ○オープン系システムのシステム企画、開発、導入までのシステムインテグレーション ○ツールやプロダクトを活かしたビジネスツールとして提供するソリューションビジネス ○オープンソースソフトウェアによるシステム技術サポートを行うオープンソースビジネス |
| 運用・構築事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○コンピュータシステム及びネットワークシステムの運用管理 ○データ管理、設備管理を含むオペレーション全般 ○ネットワークシステム構築 ○アウトソーシングサービス |
| 販売事業 | <ul style="list-style-type: none"> ○ライセンスを含めたパッケージソフト販売 ○インテグレーションサービスにおけるサーバーを中心とするシステム機器販売 ○IT導入に関するコンサルティング・サービス |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法
報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

棚卸資産の評価については、簿価切下げ前の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,701	5,804	13,359	42,864	—	42,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22	208	101	332	△332	—
計	23,723	6,012	13,460	43,197	△332	42,864
セグメント利益 (注) 3	4,728	1,731	1,117	7,577	△1,573	6,004
セグメント資産	11,748	1,637	5,635	19,021	23,366	42,387
その他の項目						
減価償却費 (注) 2	60	16	81	158	0	158
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注) 2	27	7	171	205	0	206

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△1,573百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(2) セグメント資産の調整額23,366百万円には、セグメント間消去△236百万円と、各報告セグメントに配分していない全社資産23,602百万円が含まれております。全社資産の内容は当社グループの余資運用資金（現金及び預金、有価証券）、短期貸付金、長期投資資金（投資有価証券及び長期貸付金）及び繰延税金資産であります。

2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額がそれぞれ含まれております。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	開発事業	運用・構築 事業	販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,711	6,043	16,370	47,125	—	47,125
セグメント間の内部売上高 又は振替高	40	334	81	455	△455	—
計	24,751	6,378	16,451	47,581	△455	47,125
セグメント利益 (注) 3	5,105	1,853	1,575	8,534	△1,627	6,907
セグメント資産	12,852	1,843	7,411	22,107	25,222	47,329
その他の項目						
減価償却費 (注) 2	59	17	100	177	—	177
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額 (注) 2	144	57	188	389	—	389

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△1,627百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額25,222百万円には、セグメント間消去△282百万円と、各報告セグメントに配分していない全社資産25,504百万円が含まれております。全社資産の内容は当社グループの余資運用資金(現金及び預金、有価証券)、短期貸付金、長期投資資金(投資有価証券及び長期貸付金)及び繰延税金資産であります。
2. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の償却額及び増加額がそれぞれ含まれております。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,087.73円	2,318.33円
1株当たり当期純利益	71.13円	367.82円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	70.95円	366.34円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	879	4,584
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	879	4,584
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,361	12,465
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	31	50
(うち、新株予約権(千株))	(31)	(50)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	第19回 新株予約権 147,200株	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

生産、仕入、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当連結会計年度の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
開発事業 (百万円)	24,741	6.0
運用・構築事業 (百万円)	6,051	4.4
合計 (百万円)	30,793	5.7

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(2) 仕入実績

当連結会計年度の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
販売事業 (百万円)	9,253	20.3
合計 (百万円)	9,253	20.3

- (注) 1. 金額は仕入価格によっております。
2. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(3) 受注状況

当連結会計年度の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前連結会計年度比 (%)	受注残高 (百万円)	前連結会計年度比 (%)
開発事業	25,275	6.9	6,265	9.9
運用・構築事業	6,157	1.9	3,015	3.9
販売事業	17,391	23.9	5,894	20.9
合計	48,823	11.6	15,175	12.6

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. セグメント間の取引については相殺処理しております。

(4) 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
開発事業(百万円)	24,711	4.3
運用・構築事業(百万円)	6,043	4.1
販売事業(百万円)	16,370	22.5
合計(百万円)	47,125	9.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. セグメント間の取引については相殺処理しております。

以 上